

報告：大学総合研究センターのIR活動への取り組み

平成28年度第1回IR実務担当者連絡会（於 立命館大学いばらきキャンパス）

2016/08 報告者 助手 姉川 恭子

主催：大学評価コンソーシアム

日時：2016年8月8日（月）

場所：立命館大学いばらきキャンパス A棟3階 AS356 セミナールーム

13:00 – 13:05	趣旨説明
13:05 – 16:55	講演&ディスカッション（○：報告者）
13:05 – 13:20	「学生調査の際に学生番号を取得することに関する小考察」 ○ 畠田 敏行（茨城大学 大学戦略・IR室）
13:20 – 13:40	「確実な計画達成と自己点検・評価を支援するためのIR」 ○ 末次 剛健志（佐賀大学 総務部企画評価課）
13:40 – 14:00	「早稲田大学大学総合研究センターのIR活動への取り組み」 ○ 姉川 恭子（早稲田大学 大学総合研究センター） ○ 山田 晃久（早稲田大学 大学総合研究センター）
14:00 – 14:20	「女子大学ベンチマークの構築プロセス：図書館の学習支援を比較対象とした試行」 ○ 橋本 智也（京都光華女子大学 EM・IR部） 白石 哲也（清泉女子大学 情報環境センター） 十河 功一（九州女子大学・九州女子短期大学 教務・入試課） 下山 貴宏（大阪樟蔭女子大学 教育開発部）
14:20 – 14:40	休憩および質問・感想票記入
14:40 – 16:50	質疑応答・総合討論
16:50 – 17:00	アンケート記入

発表の概要

本発表では、本学のIRに関する現状について、いくつかの事例を元に紹介しました。具体的には、他大学の報告で学生調査やベンチマークについて発表が行われたため、本学の学内におけるIRに関する実態調査等、関連する取組について説明を行った上で、現在奨学課と進めているIRプロジェクトの概要について報告しました。

また、本学からの課題提起として、1. 個人情報保護法対応、2. IR情報活用と外部公開、3. SAS VA運用課題と対応方法、4. IR職務の位置付け、の4点についてあげさせていただきました。

所感

本担当者連絡会にご参加の方々の多くがIR実務に携わっていらっしゃることもあり、通常業務における課題や疑問を共有させていただきながら、他大学の様々な事例をお伺いすることができました。また、事前の注意書きに「『ここだけの話』的な雰囲気確保のため」と明記されていたとおり、通常の学会等では共有されていないような実務レベルの内容も伺うことができ、大変勉強になりました。

本学の発表に対しては、現在、奨学課と行っているプロジェクトの進め方や体制に関するもの、人材育成の方法等について、その他、学生関連調

査の学籍番号の取得や授業評価アンケート分析結果の共有方法についてご質問いただきました。

また、本学より提起した課題については、中々各大学の規模や現在抱えている課題等が異なるために共有が難しく、各大学の個別事例を参考に、本学IRにおける最適解を見つけていく必要性を感じています。Fact Book作成についても、過去の当連絡会のテーマとして扱われていたようで、今後、IRの外部公開の方法を含め、本学においても更に検討を進めていこうと思います。なお、Fact Book作成に関する情報は、当コンソーシアム発刊の情報誌「大学評価とIR」第1号（2015）に詳しく、下記リンクより入手可能です。

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=lib001>（最終アクセス日：2016年8月26日）